ステイティム 900J
取扱説明書

一般的名称：小型包装品用高圧蒸気滅菌器 8671020
小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 40547020
薬事認証番号：222AABZI00071000
管理医療機器（クラスII）・特定保守管理医療機器

ステイティム 900J は SciCan 社の登録商標です。STAT-DRY は SciCan 社の登録商標です。全てのその他の商標については、このマニュアルを参照し、各保有者を確認して下さい。

ステイティム 900J の取扱説明書の著作権© 2008 は SciCan Ltd. が保有しています。

サービス及び修理についてのお問い合わせは、この取扱説明書の裏面に表示されている販売業者まで連絡下さいませ。

製造元：SciCan Ltd.
1440 Don Mills Road, Toronto ON M3B 3P9, CANADA
電話：(416) 445-1600
ファックス：(416) 445-2727
フリーダイヤル：1-800-667-7733

DMAH：（選任製造販売業者）
株式会社コーブリッジ
〒113-0033
東京都文京区本郷 3-3-12
TEL： 03-3811-6850
FAX：03-3811-6813

医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項

（昭和 47 年 6 月 1 日　薬発第 495 号　厚生省薬務局長通知）

この使用上の注意の記載は、供給電源の定格電圧又は使用電圧範囲中の最大電圧が 15V 以下のものについては省略することができ、また、機器によっては関係のない注意事項を省略することができる。

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。

2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。

（1） 水のかからない場所に設置すること。

（2） 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。

（3） 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。

（4） 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。

（5） 電源の電圧および許容電流値（または消費電力）に注意すること。

（6） 電池電源の状態（放電状態、極性など）を確認する。

（7） アースを正しく接続すること。

3. 機器を使用する前には、次の事項に注意すること。

（1） スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メータ類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。

（2） アースが完全に接続されていることを確認すること。

（3） すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。

（4） 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。

（5） 患者に直接接続する外部回路を再点検すること。

（6） 電池電源を確認すること。

4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。

（1） 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。

（2） 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。

（3） 機器および患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど、適切な措置を講ずること。

（4） 機器に患者が触れることのないよう注意すること。

5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。

（1） 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。

（2） コード類の取りはずしに際してはコードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。

（3） 保管場所については次の事項に注意すること。

Ⅰ　水のかからない場所に保管すること。

Ⅱ　気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。

Ⅲ　傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、安定状態に注意すること。

Ⅳ　化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

（4） 附属品、コード、導子などは清浄したのち、整理してまとめておくこと。

（5） 機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄しておくこと。

6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。

7. 機器は改造しないこと。

8. 保守点検

（1） 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。

（2） しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

9. その他必要な項目

目次

1　はじめに

図 1　ステイティム 900J

- ステイティム 900J は、インスツルメントを高速で滅菌できるように製造されています。
- これにより、患者が入れ替わる間に、インスツルメントの滅菌をすることが可能になります。
- 作動時間を減らすために、ステイティム 900J には滅菌後の乾燥サイクルを装備していません。
- 滅菌終了後は、引き出しが自動的に開放し、蒸気が排出され、自然乾燥及び冷却が行われます。
- ステイティム 900J は、このような機能のため、滅菌後のインスツルメントが、引き出しが開いて日常環境に抵触した時には、これらの器具が、無菌であることは保証できません。
- 使用可能な温度になった後、直ちにこれらのインスツルメントを使用することをお勧めします。
- ステイティム 900J には、3 つの滅菌サイクルがあります：

金属インスツルメント用サイクル：［未包装品サイクル］
金属製インスツルメントなど内部構造がない未包装器具の滅菌に使用します。このサイクルの滅菌は、134℃で 3.5 分間です。
このサイクルの詳細な記述は、13 ～ 17 ページを参照して下さい。

滅菌袋を使用したインスツルメント用サイクル：［空洞・包装品サイクル］
歯科用ハンドピースなど内部構造がある器具及び滅菌袋に封入した器具の滅菌に使用します。このサイクルの滅菌は、134℃で 5 分間です。このサイクルの詳細な記述は、13 ～ 17 ページを参照して下さい。

ラバー又はプラスチック製品用サイクル：［ラバー・プラスチックサイクル］
ラバー及びプラスチックインスツルメントの滅菌に使用します。このサイクルに適した材料の種類は、滅菌するインスツルメントの準備の項にまとめてあります。このサイクルの滅菌は、121℃で 15 分です。このサイクルの詳細な記述は、13 ～ 17 ページを参照して下さい。

2　重要な情報

2.1　免責条項

- ステイティム 900J には、蒸留水のみを使用して下さい。
  溶解固形分 5 ppm 未満の蒸留水（伝導率 10 μ S/cm 未満）のみを使用して下さい。
- イオン交換水、脱塩水、特殊ろ過水等は使用しないで下さい。
- 水道水は決して使用しないで下さい。
- 指定以外の水の使用は本製品およびインスツルメントに損傷を与え、保証の対象外となります。
- ステイティム 900J は、規定の技術講習を受講し認定された資格者以外は、サービス又は保守を行わないで下さい。
- SciCan 社は、第三者によってなされた全てのサービス又は保守により発生した、偶発的、特殊又は間接的な損傷について、あるいは利益損失、あらゆる商業的損失、経済的損失、又は人的障害から発生した損失を含む、第三者によって改造された機器又は部品の使用に対して責任を負いません。
- 機器のカバーは決して取り外さないで下さい。また、開口部又は穴に異物を挿入しないで下さい。
  もし、行った場合、機器へ損傷や操作者への危険を及ぼす可能性があります。

重要事項：
滅菌工程の検証は、各国のガイドラインに従って下さい。

2.2　機器の概要

1. 給水口キャップ（蒸留水）
2. 液晶ディスプレイ
3. キーパッド（スイッチ）
4. 水平器
5. 引き出し
6. 滅菌チャンバー
7. 電源スイッチ
8. 電源コード
9. 脚（水平水準調整用）
10. 廃水容器及びコイル
11. 廃水チューブ
12. 廃水チューブ接続口
13. 水抜きチューブ
14. RS232 ポート

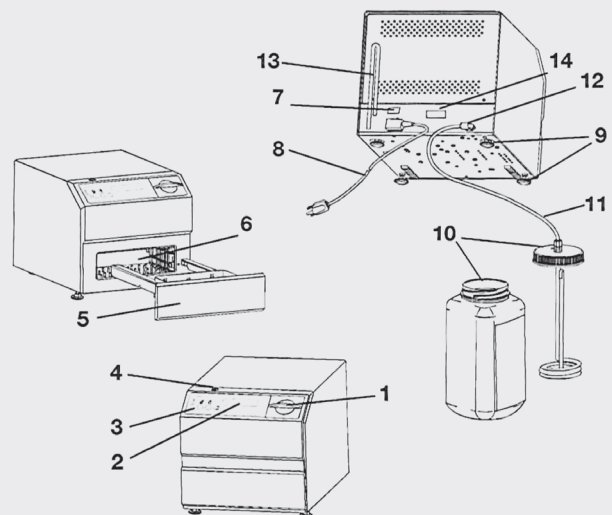



図 2

次のマークは本書の余白にあります

操作者に危険の及ぶ可能性があります

機器の故障が起こる可能性のある状況です

重要なお知らせです

注意：
感電の危険性あり。
保守の実施前に電源を抜いて下さい。

注意：
表面高温及び / 又は高温蒸気

［未包装品サイクル］
硬質インスツルメント用のサイクル

［空洞・包装品サイクル］
滅菌袋を使用したインスツルメントまたは、内部構造のある機器用のサイクル

［ラバー・プラスチックサイクル］
ラバー及びプラスチック製インスツルメント用のサイクル

MULTIFUNCTION ボタン

ステイティム 900J には、以下の品目が含まれています。
不足している場合は、すぐに販売業者まで連絡してください。

・ステイティム 900J 本体	×1 台	・電源コード	×1 個
・引き出し	×1 個	・ワイヤーバスケット	×2 個
・廃水容器（コイル付）	×1 個	・スタットドライプラス	×1 個
・廃水チューブ（クランプ・ネジ付）	×1 組	・取扱説明書	×1 冊

3　取り付け

3.1　設置条件

ステイティム 900J は、不適切な設置を行った場合、性能に影響を与える可能性があります。
以下の条件を確認し、適切な設置場所に機器を設置して下さい。

- **温度及び湿度**
  直射日光の当たる場所、熱を発生する機器の横、空気循環の悪い閉鎖された場所、水などの液体の付着がある場所に設置しないで下さい。
  環境温度は 15 ～ 25℃、環境湿度は 25 ～ 70%で使用して下さい。
- **間隔の確保**
  ステイティム 900J の上部および背面の通気口を、覆ったり塞がないで下さい。
  機器の上面、側面、背面は、最低 50mm の間隔を確保してください。
- **通気**
  ステイティム 900J は、清潔でほこりの出ない場所で使用して下さい。
- **作業台**
  ステイティム 900J は、水平で漏水に耐える耐水加工したテーブルに設置して下さい。
- **電磁環境**
  ステイティム 900J は、電磁エミッションの規格に適合しています。
  しかし、他の機器からの影響を受ける可能性があります。
  妨害を発生しそうな機器よりステイティム 900J を離して設置してください。
- **電気的要件**
  ステイティム 900J の定格ラベルの電源電圧を守ってください。また電気容量は表示以上のヒューズ付電源に接続して下さい。
  複数口ある電源タップでの複数機器との併用使用は避け、単独電源として使用してください。
  サージサプレッサーを使用する場合は、1 台のステイティム 900J の単独電源として使用してください。

3.2　機器の設置

ステイティム 900J の設置は、以下の順に従って下さい：

1. 水平の調整
   4 つの水平調節可能な脚（3）を、カバー上部にある水平器（2）を確認しながら調整します。水平器の気泡が、中心より少し外れた4時 30 分方向（1）になるように設置すると廃気の効率がよくなります。
2. 接地の確認
   ステイティム 900J の4つの水平脚（3）全てが、作業台に接地しガタツキがないことを確認して下さい。

1. 気泡
2. 水平器
3. 脚
4. 蒸留水口キャップ

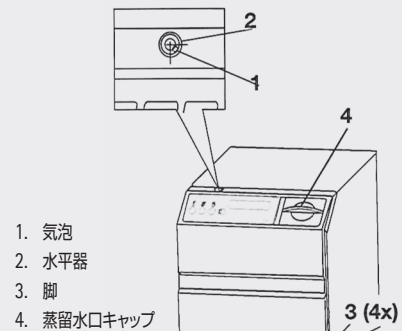



図 3

3.3　廃水容器の接続

1. 廃水チューブ（2）の一方を、本体背面にある廃水チューブ接続部（3）に挿入します。

廃水チューブが確実に接続されていることを確認してください。

2. 廃水容器はステイティム 900J 本体の下部に設置するようにして下さい。
   機器の下のキャビネットに設置することを推奨します。（注意：廃水作業が必要な為、廃水容器を取り出し易く設置してください）
   廃水チューブの配管は、900 Jの設置したテーブルに 7mm 径の穴を空け、付属のナイロン製チューブ固定器具（クランプ）で固定してください。
3. 廃水チューブは、廃水容器の取り出しができる長さに切断後、チューブにナット（4）、リング（5）、コーン（6）の順番に差し込みます。
   チューブの端を廃水容器蓋の穴に挿入後、リング（5）、コーン（6）を押し付けてナット（4）を手できつく締めます。

注意　廃水チューブにねじれが無いように取り付けてください。

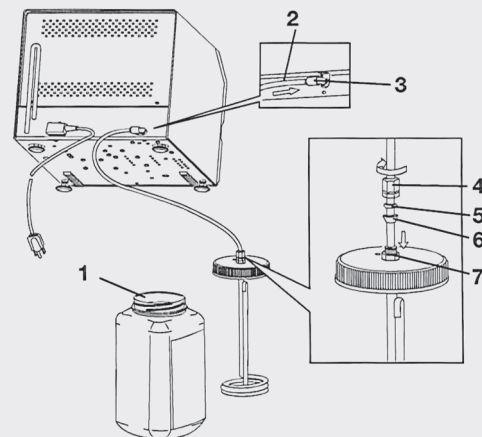
4. 銅製コンデンサコイル付の蓋を廃水容器から取り外します。
   冷却用の水道水を廃水容器の”MIN”の位置迄入れ、銅コンデンサコイル付の蓋を戻して下さい。
5. 必要ならば、低濃度の消毒液を調合し、廃水容器に加えて下さい。
   これにより、不快な臭い又は廃液の変色を防ぐことが可能です。

1. 廃水容器
2. 廃水チューブ
3. 廃水チューブ接続部
4. ナット
5. リング
6. コーン
7. スレッド付ナット

図 4

3.4　蒸留水容器への給水

蒸留水容器への給水を行うためには、以下の順に従って下さい。
900J には、蒸留水以外を使用しないでください。

1. 本体上部の蒸留水容器の蓋を外します。
2. 汚れや不純物の付着のない容器や漏斗を使い給水します。
3. 給水量は、漏れ出ないことを確認しながら（最大 3L）給水します。
   蒸留水容器の上部近くまで入ったら、ゆっくりと注いで下さい。

   ! 溶解固形分 5 ppm 未満の蒸留水（伝導率 10 μ S/cm 未満）のみを使用して下さい。

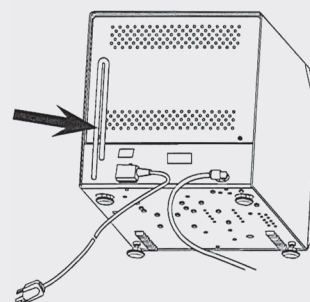
4. 蒸留水容器の蓋閉め、電源を入れ、ディスプレイに コノミズハ　シヨウデキマセン が、表示されないことを確認します。
5. 空の廃水容器に、廃水容器の “MIN” の位置まで、冷却するための水道水を入れます。

図 5

3.5　ステイティム 900J 給水回路のエアーを抜く

ステイティム 900J のエアーを抜くためには、以下の順に従って下さい。

1. ステイティム 900J の背面にある水抜きチューブをホルダーより取り外し、
   チューブが受け容器に届くように、本体の位置を移動します。
   （本体がテーブルより落下しないように注意してください。）
2. 水抜きチューブの末端からストッパーを外し、少なくとも 30 秒間、水を出します。
   （この蒸留水は、再使用しないでください。）
3. ストッパーを再度はめ、機器に水抜きチューブを戻します。
4. 機器の背面にある電源ソケットに電源コードを接続します。
5. アース付コンセントに電源コードを接続しま す。

図 6

3.6　ディスプレィに表示される言語の選択

ステイティム 900J の液晶ディスプレイに表示される文字言語の設定を行うためには、以下の順で行います。液晶ディスプレイの点滅したカーソルが変更できます。

1. ステイティム 900J の電源スイッチを “OFF” にします。
2. ステイティム 900J の前面にある [空洞・包装品サイクル] ボタンを押し続け、後部の電源スイッチを “ON” にします。
3. [空洞・包装品サイクル] ボタンを離します。現在選択されている言語が表示されます。
4. [空洞・包装品サイクル] ボタンを押すと、次の言語が現れます。
   [未包装品サイクル] ボタンを押すと、前の言語に戻ります。
5. 必要な言語が液晶ディスプレイに現れたら、[MULTIFUNCTION] ボタンを押して記憶させます。
   本体は通常の操作機能に戻ります。

3.7　日時の設定

日時の設定は、以下の順で行います。液晶ディスプレイの点滅したカーソルが変更できます。

14:23	15/12/2010
ジ / フン	ニチ / ガツ / ネン

1. ステイティム 900J の電源を”OFF”にします。
2. ステイティム 900J の前面にある [未包装品サイクル] ボタンを押し続け、ステイティム 900J の電源を”ON”にします。
   液晶ディスプレイには：　時 : 分　日 : 月 : 年　と表示します。
3. 年月日時分の変更する場合は、[ラバー・プラスチックサイクル] ボタンを押します。
4. 値を増やすには、[未包装品サイクル] ボタンを押します。
5. 値を減らすには、[空洞・包装品サイクル] ボタンを押します。
6. 変更を保存し、通常操作に戻るために、[MULTIFUNCTION] ボタンを押します。
7. 変更を保存しない場合は、ステイティム 900J の電源を“OFF”にします。

3.8　機器の使用準備

ステイティム 900J 設置後は、必ずテスト運転をしてください。

[空洞・包装品サイクル] を 2 回実施します（「セクション 4.5　サイクルの実施」を参照する）。引き出し及びバスケットを清掃し、柔らかな布で内部表面を拭取り、水道水で完全にすすいで下さい。
一旦バスケット及び滅菌チャンバーを清掃し、乾燥したら、滅菌チャンバーの内部表面をスタッド・ドライ (Stat-Dri) で処理します。

3.9　ステイティム 900J の運搬

ステイティム 900J を運搬する場合は、以下の順に従って下さい：

1. 機器本体の蒸留水容器から水を排出してください。
   本体が、冷えていることを確認後、ステイティム 900J がテーブルより落下しないように注意し後方に向きを変えます。
   機器の背面の水抜きチューブをクリップからはずします。抜いた水を溜めるための容器（最大3L）を用意します。
2. 水抜きチューブ末端からストッパーを外すと、本体より水が排出されます。
   水抜きチューブより蒸留水が出なくなるまで抜き取り、ストッパーを取り付けてから、クリップに戻します。
3. 4 ヵ所の調整可能な脚は、運搬中に破損することがあるため、ねじ込んでください。
4. 輸送用の箱に入れ保護材で保護します。

4　使用方法

4.1　滅菌チャンバーの引き出しの操作

ステイティム 900J のキーパッドには 4 つのボタンがあります。
左からの 3 つのボタンは、3 つの異なる滅菌サイクルを選択できます。
これらのサイクルは、「セクション 4.4　サイクルの選択」を確認してください。
キーパッド右側の [MULTIFUNCTION] ボタンは、引き出しを開閉および機能を中断するときに使用します。

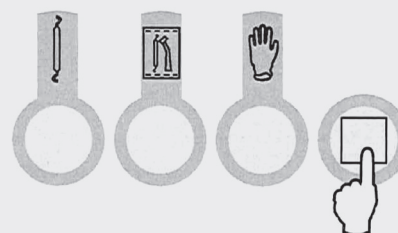
- **滅菌チャンバーの引き出しを開く**

1. [MULTIFUNCTION] ボタンを押すと、引き出しは開きます。
2. 滅菌チャンバーからバスケットを取り出します。
3. バスケットに滅菌するインスツルメントを入れます。大量に入れるとエラーが発生します。
   滅菌するインスツルメントは、製造者の滅菌の指示に従い、損傷を与えないことを確認してから滅菌してください。
4. バスケットを滅菌チャンバーに戻します。
5. [MULTIFUNCTION] ボタンを押して引き出しを閉じるか、滅菌サイクルボタンの 1 つを押すと、引き出しが閉まり、選択した滅菌サイクルを開始します。

- **滅菌チャンバーの引き出しを取り外す**

  滅菌チャンバー引き出しを取り外には、以下の順に従って下さい。

チャンバーが、冷えていることを、確認後作業してください。

1. キーパッドの [MULTIFUNCTION] ボタンを押し、引き出しを開きます。
2. 機器の電源スイッチを “OFF” にします。
3. 前面開放部の右上にある緑色のラッチを押しながら、引き出しをゆっくりと機器から引き抜きます。

- **滅菌チャンバーの引き出しを取り付ける**

  滅菌チャンバーの引き出しを取り付けるには、以下の順に従って下さい：

1. 引き出しを前面開放部内の中心に合わせます。
2. 前面開放部内のローラー上に、引き出しの後部を置きます。
3. 引き出しは、前部を上向きに傾け、機器内へ押します。
4. 引き出しは、中間部位でレールにはまり込む「カチリ」音がするまで押し込みます。
   引き出しを持ち上げるようにして押すと、緑色のラッチを超えて引き出しがはまります。
5. 引き出しを正しく設置した場合は、緑色のラッチを押さずに取り外すことができません。
6. 電源を “ON” にし、[MULTIFUNCTION] ボタンを押し引き出しを閉めます。

4.2　滅菌するインスツルメントの準備

ステイティム 900J でインスツルメントを滅菌する前に、インスツルメントの製造業者の滅菌処置に関する指示を確認して下さい。

- **滅菌前に行うインスツルメントの清掃**
  インスツルメントは、滅菌前に行ったスプレーなどによる清掃後は、余剰な油などを取り除いてください。
  オイルや消毒液及び固形物が残っていると、滅菌の妨げとなり、インスツルメント、滅菌チャンバー及びステイティム 900J に損傷を与える可能性があります。

- **[未包装品サイクル] 硬質インスツルメント用のサイクル**
  滅菌袋に封入されていないインスツルメント全ての表面に蒸気が行きわたるよう、それぞれが接触しないよう並べて下さい。
  - インスツルメントをバスケット内で積み重ねないでください。滅菌効果を妨げます。
  - ステイティム 900J は、即時及び保管後使用の両方の滅菌サイクルを有します。

- **即時使用**
  滅菌後直ちにインスツルメントを使用する場合は、硬質インスツルメント用サイクルを使用して下さい。

ハンドピース類は、即時使用でも [包装品サイクル] で滅菌しなければなりません。

  - 滅菌袋を使用しないインスツルメントの場合、インスツルメントは（冷却直後）即時使用しなければなりません。また、使用場所までの移動中の再汚染から保護しなければなりません。
  - 硬質インスツルメントサイクルの即時使用は、滅菌終了後約 6 分です。

- **[空洞・包装品サイクル] 滅菌袋を使用したインスツルメントまたは、内部構造のある機器用のサイクル**
  滅菌後、インスツルメントを保管する場合は、インスツルメントの製造業者の指示に従い、滅菌バッグに入れた状態で保管して下さい。
  - インスツルメント（歯科用ハンドピース）は、滅菌前に行ったスプレーなどによる清掃後は、余剰な油などを取り除いてください。オイルや消毒液及び固形物が残っていると、滅菌の妨げとなります。
  - 各インスツルメントは個々にパックします。
  - 専用のバスケットを使用し、下部と上部に各段に 1 パックづつセットします。
  - ステイティム 900J には、乾燥工程がありません。濡れた状態でのバッグ保存は、インスツルメントの無菌性を損なうことがあります。
  - 滅菌後の、濡れたパックは開放された本機器の引き出し内で乾燥させるか、バスケットのまま、殺菌キャビネットに移し乾燥することも可能です。
  - 被滅菌物およびバスケットは、乾燥中の再汚染から保護して下さい。
  - ステイティム 900J では、布袋などの使用は推奨しません。

  SciCan 社は、SPS™、Medi-Plus™ 及び Chex All™ のようなプラスチック／紙オートクレーブバッグの使用を推奨します。Steri-Stik™ 紙／紙も使用できます。
  ステイティム 900J では、布製のバッグの使用は推奨しません。
  滅菌バッグの封入が確実にされていないとインスツルメントの表面に蒸気が直接ふれることがあります。

! 滅菌する器具の全重量が、合計 1.0 kg を超えないようにして下さい。

- **[ラバー・プラスチックサイクル]　ラバー及びプラスチック製インスツルメント用のサイクル**
  以下の材質は、ステイティム 900J で滅菌できます：
  - ナイロン、ポリカーボネート（LexanTM)、ポリプロピレン、PTFE（TeflonTM)、アセタール（DelrinTM)、ポリスルホン（UdelTM)、ポリエーテルイミド（UltemTM)、シリコーンラバー、及びポリエステル。
    バスケット内でゴム又はプラスチック製インスツルメントを滅菌する場合も、全表面へ蒸気が行き届くようにするために、被滅菌物にすき間をかならず取ってください。

! 以下の材質は、ステイティム 900J で滅菌はできません：
- ポリエチレン、ABS、スチレン、セルロース誘導体、PVC、アクリル（PlexiglasTM)、PPO（NorylTM)、ラテックス、ネオプレン及び類似の原料。
- これらの材質を滅菌すると、被滅菌物又は本製品が損傷する可能性があります。
- 被滅菌物の材質及び構成が不明な場合は、製造者の確認がとれるまで、ステイティム 900J 内で滅菌しないで下さい。

・ **全てのインスツルメント**
ステイティム 900J は、布、液体又は生物医学廃棄物の滅菌には使用しません。滅菌袋で包装されていないインスツルメントは、一旦大気中や外部条件下に接触すると、滅菌状態を維持することができません。滅菌バックでの保管が必要な場合は、インスツルメントの製造者の指示に従い、滅菌バッグで包装後［空洞・包装品サイクル］ を実施してください。サイクル完了後は、無菌的に取扱って下さい。

・ **日常的監視**
SciCan は、ステイティム 900J の日常的な監視のために、蒸気滅菌に適したシール状のインジケーターの使用を推奨します。市販されているインジケーターから、適切なタイプを選択することが重要です。134℃での［未包装品サイクル］ 及び［空洞･包装品サイクル］ の蒸気滅菌用のインジケーター、及び 121℃での［ラバー・プラスチックサイクル］ の蒸気滅菌用のインジケーターを使用して下さい。毎滅菌に、少なくとも 1 つのインジケーターを使用して下さい。以下は、製造者の指示に近いインジケーターです。

サイクル	生物学的 インジケーター	インキュベート時間 潜伏期間	試験包装
［未包装品サイクル］	AttestTM 1261	24 時間	インスツルメントのないバスケットの中央にインジケーターを置きます
［空洞・包装品サイクル］	AttestTM 1261	24 時間	インスツルメントのないバスケットの中央にインジケーターを置きます
［ラバー・プラスチックサイクル］	AttestTM 1262	48 時間	インスツルメントのないバスケットの中央にインジケーターを置きます

生物学的及び化学的インジケーターの取扱い、使用及び廃棄の方法についての詳細は、3M AttestTM 生物学的インジケーターに添付の製品説明書を参照するか、直接製造者に問い合わせて下さい。

ステイティム 900J でインジケーターを使用するためには、以下の順に従って下さい：
1. 適切なインジケーターをステイティム 900J チャンバー内に置きます。
2. 通常の手順に従い、滅菌器を使用します。
3. メッキンガオワリマシタ のメッセージが液晶ディスプレイ上に表示すれば、サイクルは終了です。
4. インジケーターを回収し、インジケーターに添付の説明書に従い、次の作業を実施して下さい。

インジケーターの表示が滅菌不全である場合：
1. 適正な試験結果が得られるまでインスツルメントの滅菌は、行わないで下さい。
2. 正しいインジケーターのタイプを選択したか確認します。
3. チャンバーに被滅菌物が、過負荷でないことを確認します。（本セクションの、適切な滅菌に関する指示）を参照して下さい。
4. 結果が変わらない場合は、ステイティム 900J でインスツルメントの滅菌を行わず、販売店に連絡して下さい。

3M Attest™ の応答時間は最大 48 時間のため、週末前に最終サイクルを実施し、休止時間中にインジケーターのインキュベーション終了となるような計画を推奨します。

4.3 インスツルメントの重量ガイド

インスツルメント	標準的なインスツルメントの重量
はさみ	30 g
ハンドスケーラー	20 g
鉗子	15 g
歯科用ハンドピース	40 ～ 60 g
インスツルメント用ラック	225 g

インスツルメント	標準的なインスツルメントの重量
バキュームチップ	10 g
プラスチック製歯鏡	8 g
印象用トレイ	15 ～ 45 g
プラスチック製 X 線撮影用ガイド	20 g

注意：上記は、標準的な重量です。 実際の重量は、製造業者の規格を参照して下さい。

4.4　サイクルの選択

サイクル終了後に滅菌チャンバーの引き出しが自動的に開きます。
その後、自然乾燥及び冷却が行われます。
ステイティム 900J は、独特な操作性のために、滅菌物が周囲環境に接触したときは、これらの器具の無菌性は保証できません。
接触可能な温度になった後、直ちにこれらのインスツルメントを使用することを推奨します。
［未包装品サイクル］、［空洞・包装品サイクル］、［ラバー・プラスチックサイクル］　ボタンで、各サイクルを選択できます。

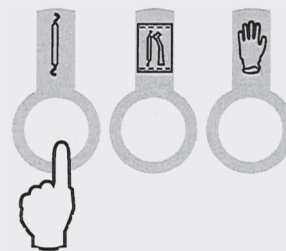
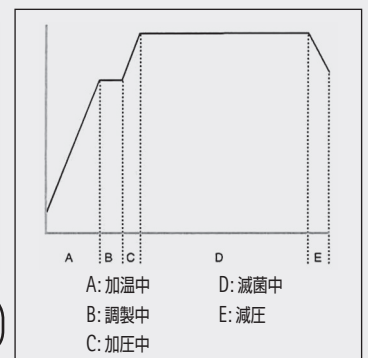
インスツルメントのタイプ、滅菌要件及び各サイクルのグラフ特性は、次項のページに記載しています。

ステイティム 900J には、3 つの滅菌サイクルがあります。
それぞれ特定のタイプのインスツルメントを滅菌するように設計されています。
サイクル完了後のインスツルメントには、引き出しを開けるまで、無菌状態が保たれています。
インスツルメントのタイプ、滅菌要件及び各サイクルのグラフ特性については、次の数ページに記載しています。
適切な滅菌を実施するため、個々の重量ついての情報は、重要です。（「セクション 4.3　インスツルメントの重量ガイド」を参照）

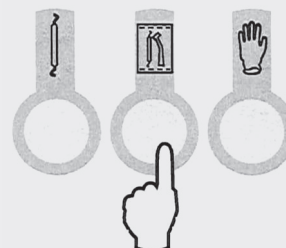
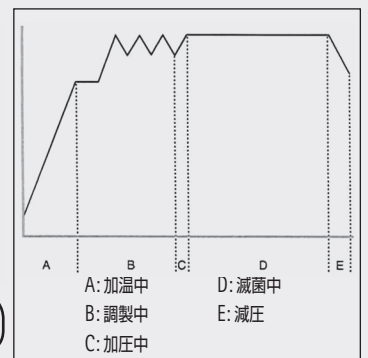
1.　［未包装品サイクル］硬質インスツルメント用のサイクル

［未包装品サイクル］は、ピンセット、スケーラーなどの、穴や内部構造のない、硬質金属製のインスツルメントの滅菌に使用します。

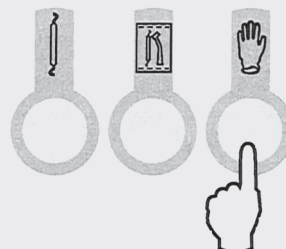
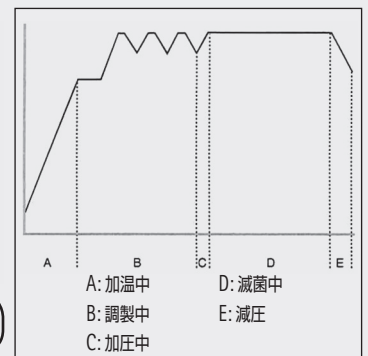
［未包装品サイクル］の最大推奨負荷は、1.0 kg です。

このサイクルを選択するには、［未包装品サイクル］サイクルボタンを押します。サイクルはその後自動的に開始します。このサイクルを右のグラフに図示します。このサイクルは滅菌相中に、チャンバー内の温度は最低 134℃で 3.5 分間保留されます。このサイクルの実施前に、「4.2　滅菌するインスツルメントの準備」参照して下さい。

ソリッド　インスツルメント
134℃デ　3 フン 30 ビョウカン

2.　［空洞・包装品サイクル］滅菌バッグを使用したインスツルメントおよび、内部構造のある機器用のサイクル

［空洞・包装品サイクル］は、歯科用ハンドピースの滅菌に使用されます。
ハンドピースのサイクルの最大推奨負荷は、1.0 kg です。

このサイクルを選択するには、［空洞・包装品サイクル］ボタンを押します。サイクルはその後自動的に開始します。このサイクルを右のグラフに図示します。このサイクルの滅菌相中に、チャンバー内の温度は最低 134℃で 5 分間保留されます。このサイクルの実施前に、「4.2　滅菌するインスツルメントの準備」参照して下さい。

クウドウ　マタワ　ホウソウサレテイル
134℃デ　5 フンカン

3.　［ラバー・プラスチックサイクル］ラバー及びプラスチック製インスツルメント用のサイクル

［ラバー・プラスチックサイクル］は、「4.2 滅菌するインスツルメントの準備」の、［ラバー・プラスチックサイクル］で挙げられている材質製のインスツルメントの滅菌に使用されます。
［ラバー・プラスチックサイクル］の最大重量は、0.1 kg です。

このサイクルを選択するには、［ラバー・プラスチックサイクル］ボタンを押します。サイクルはその後自動的に開始します。このサイクルは右のグラフに図示します。このサイクルの滅菌相中に、チャンバー内の温度は最低 121℃で 15 分間保留されます。このサイクルの実施前に、「4.2　滅菌するインスツルメントの準備」を参照して下さい。

ラバー／プラスチック　ノ　キグ
121℃　デ　15 フンカン

4.5　サイクルの実施

各サイクルの操作は、以下の順に従い、ディスプレイに表示します：

・ 機器の背面にある電源スイッチを”ON”にします。
液晶ディスプレイには：

STATIM 900J R1.11

・ 引き出しを開けます。
[MULTIFUNCTION] ボタンを押す。
滅菌物をセットします。

引き出しが完全に開いていた状態では、

プログラム　ヲ　エランデ　クダサイ
シメル　トキワ　□ヲ　オシテ　クダサイ

・ 引き出しを閉じます。
[MULTIFUNCTION] ボタンを押す。

引き出しが閉じた状態では、

プログラム　ヲ　エランデ　クダサイ
アケル　トキワ　□ヲ　オシテ　クダサイ

・ 適切なサイクルを押す。
液晶ディスプレイの横にあるキーパッドで選択する。

・ ドアが閉まり、各滅菌サイクルを選択すると、液晶ディスプレイには、以下が表示されます。

・ 滅菌サイクルが開始します。
メッセージはサイクルにより変わります。
（例）：[未包装品サイクル] を選択した場合、ディスプレイメッセージが以下ように表示されます。

・ 廃気の完了後、引き出しは自動的に開きます。温度に注意してインスツルメントを取り出して下さい。
液晶ディスプレイには：

ソリッド　インスツルメント
メッキンガオワリマシタ　　6：02

引き出しから高温の蒸気が排出します。
インスツルメント及び引き出しの金属部は熱くなっています。

- このメッセージは、サイクルが完了した注意喚起として 30 分間表示されます。
- 滅菌済みインスツルメントを取り出します。
- メッキン ガ オワリマシタ のメッセージをクリアするには、[MULTIFUNCTION] ボタンを押します。
- メッキン ガ オワリマシタ のメッセージが表示されていないことを確認後、次に滅菌するインスツルメントをチャンバー内にセットします。
- 30 分後、ディスプレイメッセージは自動的に変更します：

  プログラム　ヲ　エランデ　クダサイ
  シメル　トキワ　□ヲ　オシテ　クダサイ

- サイクル完了後の滅菌物が周囲環境に接触したときは、滅菌物の継続的な無菌性は、保証できません。

継続的な無菌性を保証するためには、他の方法で行ってください。
ステイティム 900J は、交差汚染を防ぐためにのみ用います。

4.6　サイクルの停止

- 滅菌中のサイクルを途中で停止するには、[MULTIFINCTION] ボタンを押します。
- 稼働中の機器に問題が検知されると、サイクルは停止し、ディスプレイにメッセージが表示します。
- サイクルが途中で停止されたら、他のサイクルを開始する前に [MULTIFUNCTION] ボタンを押さなければなりません。
- 液晶ディスプレイには右のメッセージが表示されます：

  ストップ　ボタン　ガ　オサレテイマス
  オマチ　クダサイ

- 液晶ディスプレイに □ヲ オシテ リセットシテクダサイ 又は メッキン サレテイマセン のメッセージがある場合は、チャンバーの内容物は滅菌されていません。詳細は「セクション 6　トラブル対策」を参照して下さい。

5　メンテナンス

5.1　チャンバーの清掃

・ステイティム 900J の滅菌チャンバーを清潔に保つことは、臨床的に重要です。チャンバーの内部表面は、少なくとも週に 1 回は塩素や研磨剤を含まない食器用洗剤等で清掃し、十分すすいでから使用してください。

・引き出しを機器から外すと、清掃が容易です。「セクション 4.1　滅菌チャンバーの引き出しの操作」を参照して下さい。
・プラスチックカバーの取扱いに注意してください。
・清掃後は、滅菌チャンバーを十分すすぎます。
・その後、滅菌チャンバーの内部表面をスタッド・ドライ (Stat-Dri) で処理します。
スタッド・ドライ (Stat-Dri) は、処置表面に水分をつけない被膜を形成します。水分は加熱されたチャンバー表面で、より効率的に蒸発します。
水滴が最小となり、インスツルメントはより早く乾燥します。スタッド・ドライ (Stat-Dri) は SciCan 社の販売店から入手可能です。

STAT-DRI Plus

STAT-DRI Plus はインスツルメンツの表面をスムーズにし、乾燥工程時の水はじきを促進し、腐食を抑制します。
本製品を使用することにより、水染みや錆の発生を抑制できます・
本製品は SciCan 製品の取扱い説明書を参照のうえ、ご使用ください。
－オートクレーブのカセットへの使用方法－
チャンバーを洗浄後、本製品をチャンバーの内面に均一にスプレーします。
その後、ペーパータオルで均等にふき取ることによりコーティングされます。
通常、週に一回程度のご使用で十分な効果を発揮いたしますが、工程終了時に水染みが発生するようであれば、適宜ご使用ください。

お子様の手の届かないところに保管してください！
目に入った場合、流水で洗い流し、まぶたを冷水で 15 分以上冷やしてください。
飲み込んでしまった場合には、水を大量に飲み、吐き出してください。
直ちに医師にご相談ください！

! チャンバー内部の清掃は、インスツルメントを日常的に滅菌するには、非常に重要です。

5.2　廃水フィルターの清掃

・チャンバーの清掃時に廃水フィルターの清掃も同時に行ってください。
・引き出しを機器から外し、本体の左奥に廃水フィルターがあります。
1.　金属の保護カバーをドライバー等で少しずつ慎重に取り外します。
2.　黒い廃水シールを取り外し、内部の金属のフィルターも水または中性洗剤で洗浄します。
洗浄後は十分にすすいでください。
3.　廃水シールのフィルターの凸面を上にして取り付けます。
4.　保護カバーをガイドに沿うように取り付けます。

動画による手順　**http://www.kavo.jp/products/maintenance/statim900j/**

! 廃水フィルターが詰まりますと、重大な故障の原因となります。

5.3　外部表面の清掃

・弱い洗浄液または弱い消毒液を湿らせた柔らかい布で、全ての外部表面を清掃します。
・強い化学薬品または溶媒を使わないで下さい。

5.4　保守スケジュール

! トラブルのない性能を確保するため、ユーザーは保守スケジュールに従ってください。

ユーザー試験の追加的な再実施が必要である場合は、国際法、地域の慣習、州法又は安全法を参照して下さい。

保守・点検項目

使用者による保守		
日常的	滅菌チャンバー	少なくとも週一回、無塩素および研磨剤を含まない中性洗浄剤で滅菌チャンバー内部を洗浄します。 その後、水で完全にすすぎます。 同時に廃水フィルターの清掃も行います。
	機器	1週間後又は未使用期間の終了時、初めに滅菌物無しの空状態でサイクルを実施します。
	蒸留水容器	毎日水抜きチューブを、栓が緩んでいないか点検します。
	廃水容器	蒸留水容器を投入した後、毎回廃液容器を空にし、”MIN”の表示ラインまで水道水を入れます。 また、無塩素の消毒剤を添加することができます。廃水チューブの折れ曲がり、抜けがないか点検します。

技術者による保守		
1年に1度	滅菌チャンバー	引き出し、蓋及びシール部分に、損傷がないか確認します。必要な場合は、交換して下さい。
	電磁弁	バルブを検査し、汚れている場合は清掃します。不良品の場合はプランジャーを交換して下さい。
	ポンプ	フィルターを清掃し、汚れている場合は交換して下さい。
	蒸留水容器	蒸留水容器の汚れを点検します。必要ならば、蒸留水の蒸気工程で清掃及びすすぎを行って下さい。
	校正	機器の校正を行って下さい。

5.5 スペア部品リスト

商品番号	商品名
0.992.4137	廃水チューブ
0.992.4153	廃水ボトル（コンデンサ - ボトル）
0.949.6681	ワイヤーバスケット
0.995.5247	ステリーマスター（新）/ 900J　排気シール（1個）
0.995.5246	ステリーマスター（新）/ 900J　排気シール止め金具
0.992.4158	ステリーインジケーター　135℃　3.5分
0.900.1700	ステリーインジケーター　121℃　15分
0.995.9167	900J 引き出し
0.992.4160	スタット　ドライ　プラス　238ML　8　OZ　ノズル付

6　トラブル対策

問題点	原因と対策
機器の電源が ON にならない	・機器と電源コードおよび電源コードと電源コンセントが適切に接続されていることを点検してください。 ・ブレーカースイッチを点検して下さい。
[サイクルボタン]、又は [MULTIFUNCTION] ボタンを押しても、引き出しが開かない／閉じない	・引き出しが、適切に装着されていない可能性があります。 ・引き出しを機器内に入れ直し、緑色のラッチが引き出しとかみ合う位置になっていることを確認してください。引き出しが適切に設置できたときは、緑色のラッチを押さずに引き出しを機器から引き抜くことはできません。「セクション 4.1　滅菌チャンバーの引き出しの操作」の使用を参照してください。 ・滅菌物が、過剰に入れてないか確認してください。
本体の下部に水がたまる	・蒸留水容器への給水時にこぼしていないか確認してください。水の注入時には、漏斗 (じょうご) の使用を推奨します。 ・水抜きチューブのプラグが、緩んでないか確認してください。 ・漏れが残る場合は、チャンバーを取外し、機器の電源を抜き、販売店に連絡してください。
サイクルの中断、メッキン サレテイマセン　サイクル　エラー のメッセージ	・チャンバーが冷却するまで待ち、他のサイクルを試します。 ・廃水チューブにねじれ等がないか点検します。 ・問題が残存する場合は、サイクル　エラーのメッセージ番号を記録し、販売店に連絡してください。
サイクル　エラー 12 のメッセージ	・滅菌サイクルを作動させないでください。 ・内部に電気系統に故障が発生していますので、電源スイッチを切り、引き出しを外し、販売店に連絡してください。 注意　インスツルメント及び引き出しの金属部は熱くなっています。高温蒸気は引き出し開口部から排出されます。
本体前面から過剰に蒸気が噴き出す	・引き出しを開閉後、別の滅菌サイクルを試します。 注意　インスツルメント及び引き出しの金属部は熱くなっています。高温蒸気は引き出し開口部から排出されます。 ・蒸気の漏れが残る場合は、引き出しを取外し、機器の電源を抜き、販売店に連絡してください。
メッセージ コノミズハ　シヨウデキマセン で機器が作動しない	・間違って、蒸留水でないものを使用または不適切な蒸留水を使用した場合。蒸留水容器及び機器内の蒸留水を排出します。本体機器から排出するためには、本体背面にある水抜きチューブを用います。ステイティム 900J の運搬方法の手順を参照してください。
メッセージ タンクニ　ミズヲ　イレテクダイ ハイスイボトルヲ　カラニシテクダサイ で、機器が作動しない	・蒸留水容器内の水量が減少しています。蒸留水を補給します。 ・廃水容器を空にします。ステイティム 900J の保守の手順を参照してください。

7　保証内容

限定保証

SciCan 社により製造された新規かつ未使用の状態のステイティム 900J に明らかな乱用、誤用、又は事故によらない材質及び技術的な不良による故障が通常条件での使用中に発生した場合、1 年間の期間に限り、SciCan 社はステイティム 900J を保証します。この期間中のこのような不良による故障が発生した場合は、故障日から 30 日以内に SciCan 社に書面によって通知され返却された場合に限り、SciCan 社は SciCan 社の選択により欠陥部品（ガスケットとフィルターを除く）の無償修理又は交換のいずれかの改善措置のみを行います。

この保証は、SciCan 社の正規販売代理店の請求書原本で当該製品のシリアル番号と購入日が明確に確認できる場合に限り、有効となります。これらが確認できない場合、保証は無効となります。保証、及び製品の品質に係わる SciCan 社のその他の義務については 1 年後に完全に満了したものとみなし、全ての法的責任が終了します。いかなる保証又は義務の行動又は履行についても、1 年後以降は SciCan 社に対して開始することはできません。

SciCan 社によって製造された全ての製品に係わる市場性または特定目的への適合性に関する黙示の保証を含め、ここで規定されていない全ての明示の保証及び全ての黙示の保証又は性能に関する表現、並びにこの規定が無ければ黙示、法律運用、商習慣又は取引過程から生じる可能性のある契約違反に対する全ての改善措置を SciCan 社は除外、拒否します。
SciCan 社の製品や特徴についてもっとお知りになりたい場合は、www.scican.com. をご参照ください。

8　仕様

機器寸法	奥行き 幅 高さ	38.4 cm 29.3 cm 28.0 cm
滅菌チャンバー寸法	長さ 幅 高さ	19 cm 9 cm 5.3 cm
蒸留水容器容量	使用容量	3.0 L
重量（水を含まない）		13 kg
最高使用圧力		0.24 MPa
電気的定格		AC100 V、50/60 Hz、1200 W
EMC：		JIS C 1806-1:2001 に適合